

平成13年 春季賃上げ 要求・妥結状況調査（最終報告）

福岡県生活労働部労働局労働政策課では、県内に事業所をおき労働組合のある企業300社（従業員数300人以上の大手150社、300人未満の中小150社）を対象として、毎年、春季賃上げの要求・妥結状況調査を実施している。

調査対象企業のうち、回答のあった246社について集計を行った結果は次のとおりである。（集計は、平成13年12月11日現在）

1 平均要求額

（1）平均要求額は、8,031円となっている。

（2）要求額が最も高いのは、サービス業で12,833円、次いで繊維衣服製造業11,400円、新聞放送業9,849円、運輸業9,720円の順となっている。

逆に、最も低いのは、電気ガス業で4,333円、次いで印刷業5,508円、鉄鋼製造業5,794円、輸送機器製造業6,086円の順となっている。

（3）規模別にみると、大手127社の平均要求額は7,406円となっている。一方、中小119社の平均要求額は8,698円となっている。

2 平均受結額

- (1) 平均受結額は、4,313円、賃上率は1.65%となっている。前年(平均受結額4,559円、賃上率1.76%)と比べると、受結額、賃上率ともに前年を下回っている。
- (2) 受結額が最も高いのは、繊維衣服製造業で10,300円、次いで新聞放送業7,632円、化学製品製造業5,903円、金融業5,773円の順となっている。
- 逆に、最も低いのは、電気ガス業で1,700円、次いで運輸業2,263円、印刷業2,394円、建設業3,133円の順となっている。
- (3) 賃上率が最も高いのは、繊維衣服製造業で4.06%、次いで木材家具製造業2.11%、サービス業2.05%の順となっている。
- 逆に、最も低いのは、電気ガス業で0.67%、次いで運輸業0.95%、印刷業1.00%の順となっている。
- (4) 規模別にみると、大手127社の平均受結額は4,656円、賃上率1.67%で、前年(平均受結額5,062円、賃上率1.84%)と比べると、受結額、賃上率とも前年を下回っている。
- 一方、中小114社の平均受結額は3,930円、賃上率1.62%で、前年(平均受結額3,983円、賃上率1.65%)と比べると、受結額、賃上率とも前年を下回っている。
- また受結額は、大手が中小を上回っており、その差は726円である。
- (5) 地区別にみると、受結額は高い方から筑後、福岡、筑豊、北九州の順となっている。大手では筑後、筑豊、北九州、福岡の順となっているが、中小では筑後、福岡、筑豊、北九州の順となっている。

